

総務省・放送を巡る諸課題に関する検討会
「災害時の放送の確保に関する検討分科会」ご説明資料

南海放送の取り組み

～放送波の活用と地域貢献～

2020年3月27日



南海放送

報告内容

1. 第2ワンセグ放送の実施概要
2. IPDCを利用した防災情報システムの開発
3. 自治体やコミュニティFM局との連携
4. 今後の展開や展望



地域に寄り沿う放送局の在り方



なぜ8人の尊い命を救えなかったのか？ 2018年7月の西日本豪雨災害を教訓に！

- 豪雨により満水になったダムは**決壊寸前**
- 放送局が行った情報提供は**事前のダム放流情報のみ**
- 緊急放流を伝えた防災無線は**雨音で聞こえなかった**
- ダム放流後、下流域の3500戸が浸水し**8人が死亡**
- **命を守る情報提供は出来なかったのか**



放送波を活用した防災情報システムの開発



第2ワンセグ放送の概要

簡単で効率的な送出設備

- 地デジマスターで第2ワンセグ放送を多重
- 受信側は標準仕様のまま放送を受信できる

既設の送受信機機器が活用できる!

送信設備の整備は不要

- 新たな送信設備は不要（現行の送信設備で放送）
- ワンセグ放送は移動受信に適している

地デジの放送エリアと同じカバー率!

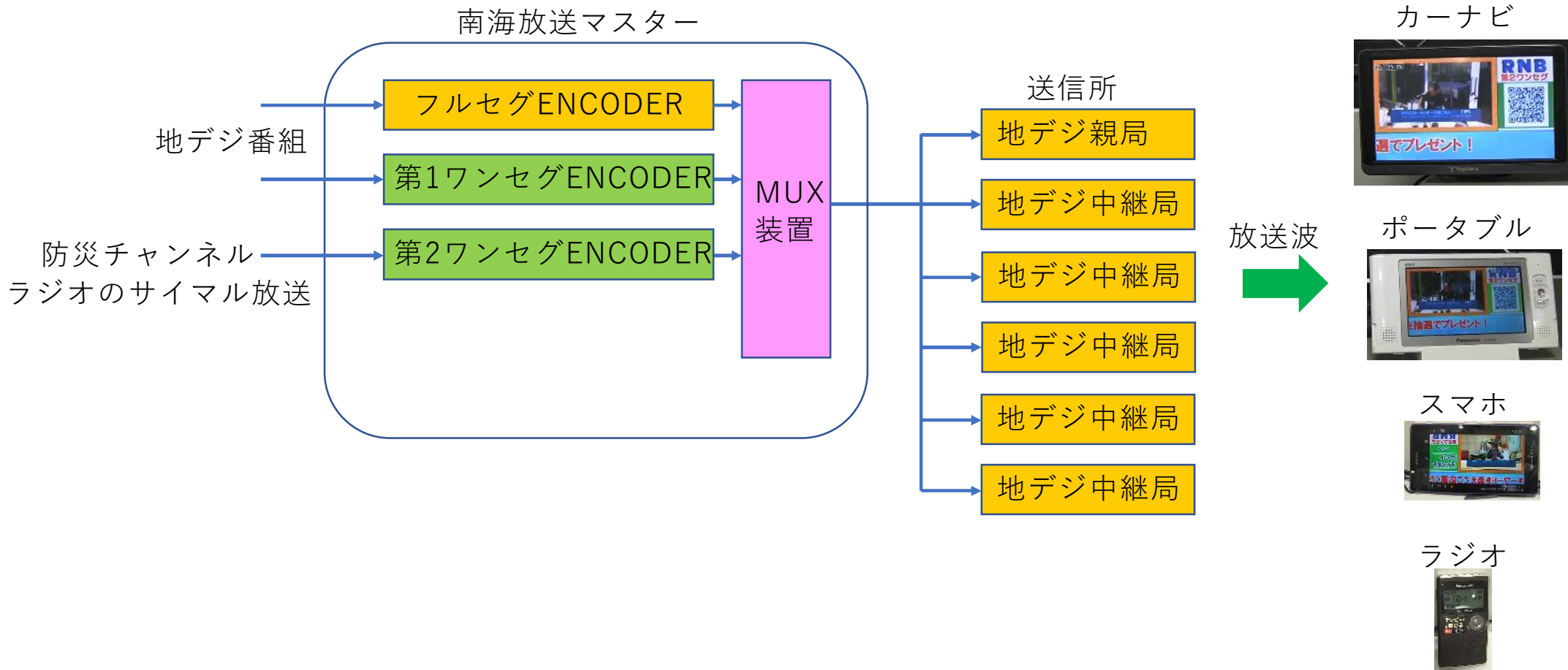
地上波放送とは別編成・別番組

- 通常の番組編成とは独立した編成チャンネル
- CM枠もなく放送内容は自由に編成できる
- 通常はラジオ放送の音声をサイマル放送

ラジオが聴ける防災専用チャンネル!



第2ワンセグの放送系統



第2ワンセグを利用した防災チャンネル・・・運用例①

平常時の運用例・・・ウイットチャンネル（ラジオ音声のサイマル放送）



RNB
第2ワンセグ



第2ワンセグをご覧の方は

第2ワンセグを利用した防災チャンネル・・・運用例①

平常時の運用例・・・ウイットチャンネル（ラジオ音声のサイマル放送）



The screenshot displays a broadcast interface for 'Uitto Channel' (ウイットチャンネル). On the left, a blue box contains contact information: 'リクエスト・お便りは md@rnb.co.jp'. Below this, it promotes the 'radiko.jp' app, stating '聞きたい放送アプリからも視聴できます！' (You can also watch from the app you want to listen to!). It features two QR codes for downloading the app on 'iOS' and 'Android', accompanied by a cartoon character. The main broadcast area shows a male host at a desk with a microphone and a female host's headshot. A sign above the host reads 'ウイットチャンネル' (Uitto Channel). At the bottom, a banner for 'radiko.jp IP-Simulcast Radio' is visible, with the text 'スマホでパソコンで' (On smartphone, on PC) written vertically on the left.

第2ワンセグを利用した防災チャンネル・・・運用例 ②

交通情報の運用例



第2ワンセグを利用した防災チャンネル・・・運用例③

災害時の運用例

重信川水系 重信川 右岸 3.6k

RNB
第2ワンセグ

大洲市
避難情報

＜長浜地区＞避難所開設情報



地デジ放送波の強みを活かして・・・IPDC開発のきっかけ

放送局（南海放送）の強みは何か？

- ◆強靱な放送ネットワークの確立と冗長系の装備
- ◆南海放送のカバー率は県内トップ（94%）
- ◆全ての自治体に中継局を置局し、通信事業者に頼らない自営回線で放送ネットワークを構築
- ◆災害時でも放送を継続できる信頼性

放送波を有効活用した防災・災害情報の伝送システム
地デジにおけるIPDC（IP Data Cast）の実用化



IPDCを利用した防災情報システムの概要

地デジ放送波の有効活用

- 地デジ放送波と同時に防災情報などを放送
- 既設の送出設備にIPDC信号を多重

新たな防災情報システムの開発!

送信設備の整備は不要

- 新たな送信設備は不要（現行の送信設備で放送）
- サービスエリアは地デジと同一エリア

確実に信頼できる情報伝達システム!

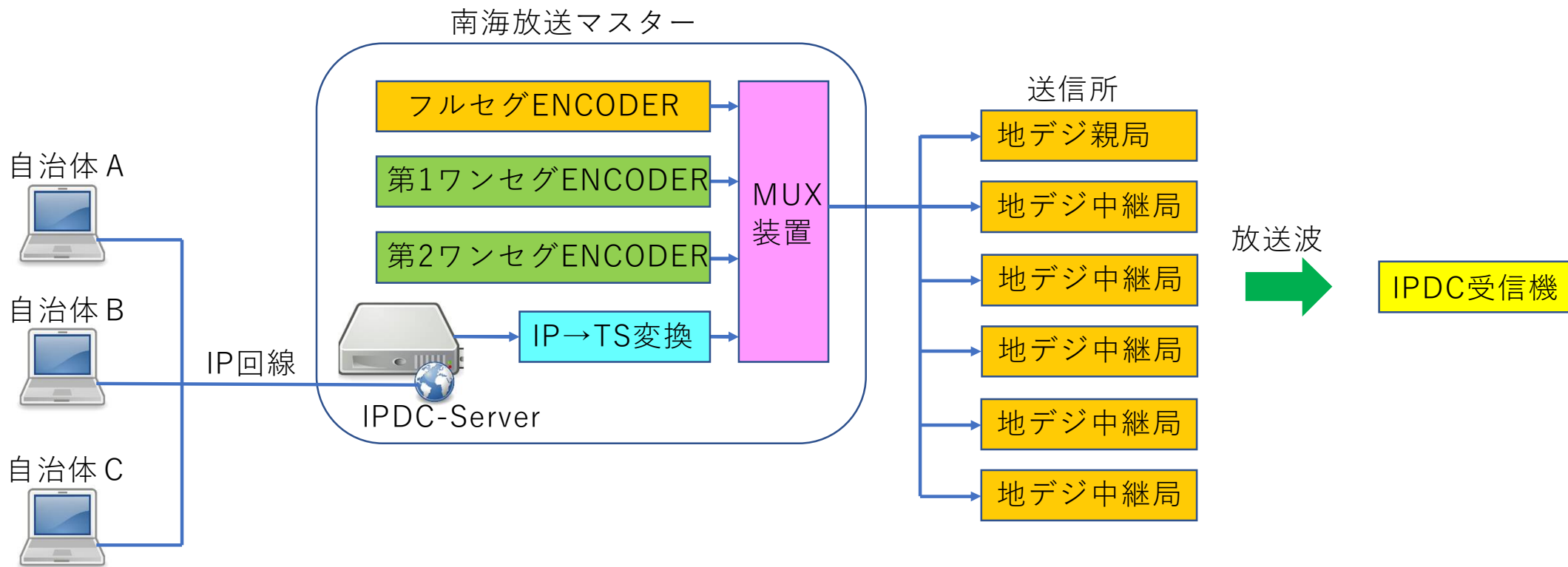
地上波放送には影響しない

- 地デジとは別のIPDC専用受信機が必要
- テレビを視聴していなくても情報が伝わる
- 地デジの放送番組を気にせず自由に使える

防災無線との併用で情報伝達多重化!



IPDCの放送系統





IPDCを利用した防災情報システムの概要 - 運用例





南海放送と自治体との連携・・・防災協定の締結

大規模災害時には相互連携

- ・ 情報提供と放送（テレビ・ラジオ）の相互連携
- ・ 迅速な情報提供により住民の命を守る

住民の安全・安心を守る地域貢献!

住民に寄り沿う情報提供

- ・ 今まで放送されなかった情報や被災地向け情報
- ・ 伝えたい時に確実に伝える手段の確立

防災無線との併用で情報の多重化!

臨時災害FM局の開局サポート

- ・ 事前に電波調査を行い使える周波数候補を選定
- ・ 南海放送のテレビ中継局に送信設備を常設
- ・ 被災地向け番組以外の時間帯は南海放送のラジオ番組を放送する

迅速で確実な送信インフラの構築!



南海放送とコミュニティFM局との連携・・・災害特番の共同制作



● 南海放送

● 今治 C F M

● 新居浜 C F M



● 宇和島 C F M

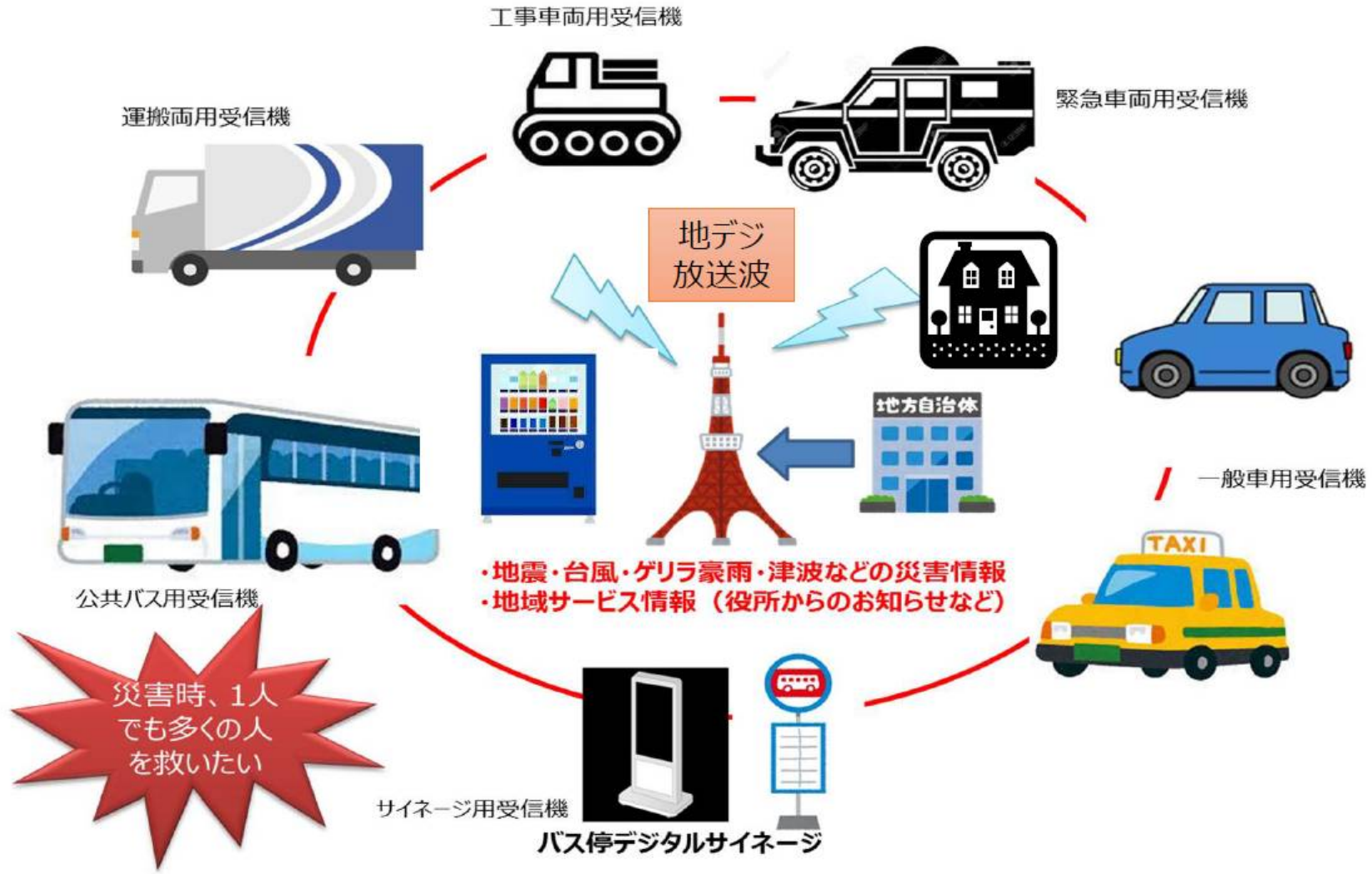


ローカル放送局と C F M の連携

- ◆ 災害地域が情報発信の最前線基地
- ◆ 南海放送から県下全域に情報発信
- ◆ 地域のラジオネットワークを構築
～放送と情報の助け合い～
- ◆ 住民に寄り沿う情報発信を実現



今後の展望と展開



**南海放送の『放送波』を活用して…
～地域に寄り沿う地域貢献～**



ご清聴、ありがとうございました